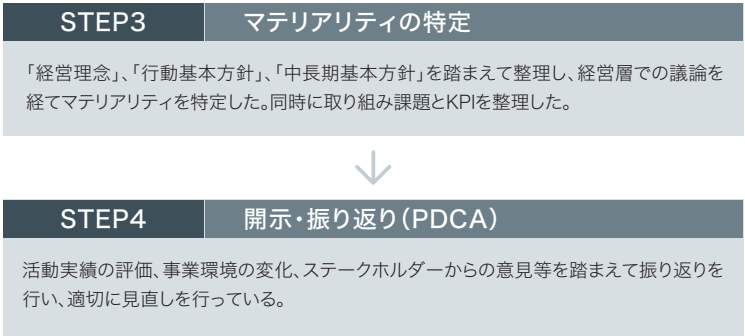
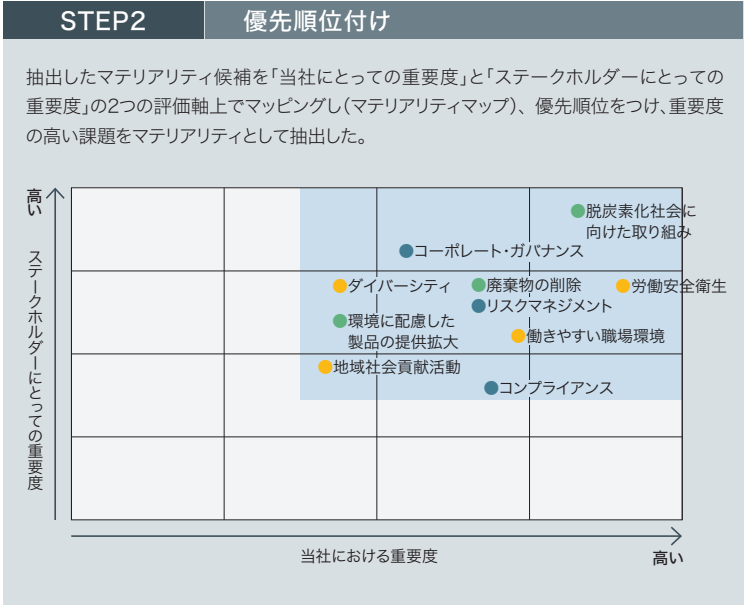
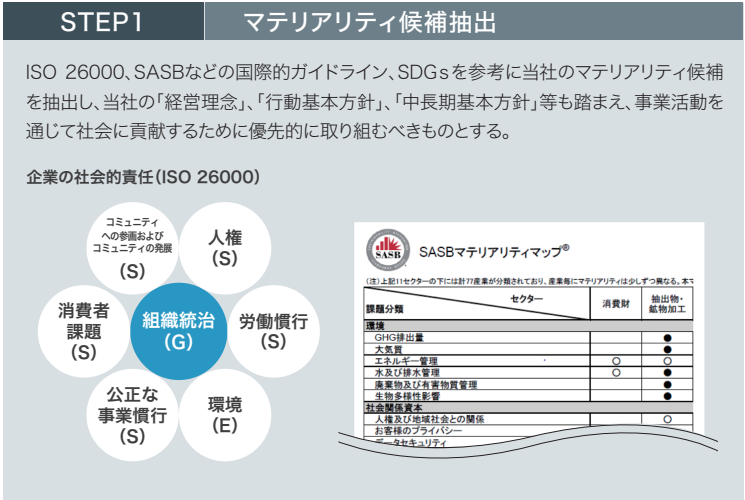


マテリアリティ(重要課題)

東邦チタニウムグループでは、「経営理念」「行動基本方針」「中長期基本方針」および国際的なガイドライン(GRI、SASBなど)を参考に、重要性の高い社会課題をマテリアリティとして特定し、これに取り組んでいます。



マテリアリティ・取り組み項目の

進捗状況を定量・定性面で管理 2024年度ESG活動実績および2025年度活動計画

マテリアリティ		取り組み項目	2024年度総括	達成度	2025年度計画
E	地球環境保全への貢献	脱炭素社会の実現	KPI：CO ₂ 排出量(2018年度比21%以上)削減に向けた取り組みの推進 目標：2030年にCO ₂ 排出量を2018年比で40%超削減し、2050年にカーボンニュートラル達成 ・CO ₂ 排出量は2018年度比で21%以上削減し目標達成 ・非化石証書、Jクレジット、カーボンオフセット都市ガス、カーボンオフセットLPG購入 ・高効率設備への更新 ・省エネの推進 ・太陽光発電継続導入 ・チタン新製錬：CNチタン実現に向けた新たな手法の基礎基盤技術の検討実施	○	KPI：CO ₂ 排出量(2018年度比25%以上)削減に向けた取り組みの推進 ・非化石証書、Jクレジット、カーボンオフセット都市ガス、カーボンオフセットLPG購入継続 ・都市ガスのオフセット方針検討 ・高効率設備への更新継続 ・省エネの推進継続 ・太陽光発電継続導入継続 ・チタン新製錬：本格研究開発移行の見極め
		環境・安全に配慮した製品の開発	KPI：・WEBTi® 量産設備の初期投資仕様確定 ・環境適合型触媒の高性能化 進捗率80%以上 目標：環境・安全性に配慮した新素材開発、技術改良、新規用途開発による複数製品化 ・WEBTi® 量産設備の投資を判断。量産工場建設着工 ・環境適合型触媒A：顧客と暫定仕様書を締結 ・環境適合型触媒B：パイロット試作の進捗率は100%。但し、性能の一部が目標未達。	○	KPI：・WEBTi® 量産設備による商業生産開始 ・環境適合型触媒A：パイロット規模での目標性能達成率100% ・環境適合型触媒B：量産試作
		持続可能な資源活用	KPI：廃棄物最終処分量(2022年度比8%以上)削減に向けた取り組みの推進 目標：2040年廃棄物最終処分量を2020年度比50%削減 ・廃棄物最終処分量は2022年度比で8%以上削減し目標達成 ・若松工場から発生する汚泥処分先について資源化できる処分先を確保 ・若松汚泥を除く最終処分対象の再資源化推進により最終処分搬出量を抑制	○	KPI：廃棄物最終処分量(2022年度比8%以上)削減に向けた取り組みの推進(増産考慮) ・若松最終処分量の搬出管理 ・若松汚泥を除く最終処分対象の再資源化推進による総排出量の全量削減を推進
		サプライチェーンにおける人権尊重	KPI：サプライチェーンの人権調査の実施、人権研修受講率100% 目標：サプライチェーンに関わる全ての方々の人権尊重 ・「ホワイト物流」の推進 ・責任ある鉱物調達実施 ・サプライヤーへのCSR調達調査実施 ・人権研修受講率100%	○	KPI：サプライチェーンの人権調査の実施、人権研修受講率100% ・「ホワイト物流」の推進継続 ・責任ある鉱物調達実施継続 ・サプライヤーへのCSR調達調査実施継続 ・社内人権研修
S	社会への貢献	地域社会共生	KPI：各地域での社会貢献や地域活性化への支援 目標：各地域での社会貢献や地域活性化への支援 ・サッカー部による地域貢献活動実施(サッカークリニック、サザンカップ、清掃活動等) ・小中学校の校外学習、高等学校工場見学受け入れ実施 ・地元交響楽団、スポーツチームへの協賛実施	○	KPI：各地域での社会貢献や地域活性化への支援 ・サッカー部による地域貢献活動継続 ・小中学校の校外学習、高等学校工場見学受け入れ実施継続 ・地元交響楽団、スポーツチームの支援継続
		職場の労働安全衛生改善	KPI：休業以上災害0件、不休以上災害6件以下 目標：重大な労働災害発生 の撲滅、健康的に働ける環境の実現 ・休業以上災害4件 ・不休以上災害19件 ・定期健康診断、ストレスチェック実施	△	KPI：休業以上災害0件、不休以上災害9件以下(前年の50%以上削減) ・安全文化の醸成、安全衛生教育の実施、職場リスクの低減、協力会社や請負業者の業務及び工事における安全活動推進継続 ・定期健康診断、ストレスチェックの継続実施
	魅力ある職場の実現	多様性と包摂性	KPI：障がい者雇用率2.5%以上の維持・向上、大学(院)卒及びキャリア採用者の女性比率20%以上 目標：多様性と包摂性に配慮した職場の実現 ・障がい者雇用率2.5% ・2024年度大学(院)卒及びキャリア採用者女性比率26%	○	KPI：障がい者雇用率2.5%以上、大学(院)卒及びキャリア採用者の女性比率20%以上 ・障がい者の求人活動を継続 ・多様性に対する設備の整備を推進
		働きやすい職場環境の整備	KPI：年休取得率90%以上、男性育休取得率50%以上、新卒者の3年後定着率75%以上 目標：活力をもって働ける職場環境の実現 ・年休取得率89.3% ・男性育休取得率46.7% ・新卒者3年後定着率83.3% ・従業員満足度調査実施	△	KPI：年休取得率90%以上、男性育休取得率50%以上、新卒者の3年後定着率75%以上 ・年休の計画的取得の促進 ・男性の積極的な育休取得の促進 ・高卒入社1年目および3年目フォロー面談、中途採用社員へのフォロー面談、退職者面談継続 ・従業員満足度調査継続
G	経営基盤強化	人材育成	KPI：・人材育成計画に基づく効果的な研修の実施 ・管理職の第一種衛生管理者資格取得率60%以上 目標：全社員の自己成長を後押しできる基盤作りと教育定着 ・GM、TL、作業長対象の労務管理・ハラスメント防止教育・メンタルヘルス研修を実施 ・オンライン研修の導入 ・中途採用者向け研修、各登用時研修、キャリア採用者研修、高卒フォローアップ研修実施 ・第一種衛生管理者資格取得率55%	△	KPI：・人材育成計画に基づく効果的な研修を実施し、社員の成長及びスキル向上をサポート ・管理職の第一種衛生管理者資格取得率60%以上 ・新任GM、TL、作業長対象の労務管理・ハラスメント防止教育 ・オンライン研修継続 ・管理職に対する第一種衛生管理者資格取得要請
		コーポレートガバナンス強化	KPI：サステナビリティ情報の開示 目標：CGコードの着実な運用 ・気候変動リスク・機会の開示内容の更新 ・2025年度向け開示内容見直し方向性検討 ・SSBJ開示基準の動向調査開始 ・有報、統合報告書、HP等へのサステナビリティ情報開示 ・取締役会実効性評価、グループ会社間利益相反監督委員会を実施	○	KPI：サステナビリティ情報の開示 ・気候変動リスク・機会の開示内容の更新 ・ESG情報開示の新たなSSBJ基準の動向調査継続 ・有報、統合報告書、HP等へのサステナビリティ情報開示 ・取締役会実効性評価、グループ会社間利益相反監督委員会の実施 ・少数株主保護にかかる情報開示の充実等への対応検討
		コンプライアンスの徹底	KPI：企業倫理推進委員会で承認された活動の遂行 目標：コンプライアンス違反ゼロ ・安全環境コンプライアンス調査フォローアップ実施 ・設備種別安全環境法規一覧の確認 ・情報管理台帳整備 ・下請法：中小企業庁立入検査実施 ・CSR調達調査フォローアップ実施 ・コンプライアンス教育：階層別教育、下請法教育・情報管理教育実施	○	KPI：企業倫理推進委員会で承認された活動の遂行 ・安全環境コンプライアンス調査企画検討 ・設備種別安全環境法規一覧フォロー ・情報管理フォロー ・特定法令監査継続 ・サプライチェーンにおける企業倫理推進継続 ・各種コンプライアンス教育継続
		リスクマネジメント推進	KPI：リスク管理委員会で承認された活動の遂行 目標：全社的リスク管理システムの構築と適切な実践 ・リスク受容等検討会、予算策定前リスク検討会開催 ・アクションプラン改善要請実施 ・部長層対象基本教育、専門教育、課長/GM/TL対象導入教育、新任対象者教育実施 ・BCP実効性改善フォロー	○	KPI：リスク管理委員会で承認された活動の遂行 ・RMS教育継続によるRMS定着化 ・定期的なアクションプラン更新に基づくリスク管理 ・階層別リスク管理啓発活動 ・BCP実効性改善フォロー継続とBCPシステムの見直しおよびBCP訓練の準備 ・環境リスク総点検フォローアップ